

[特 集]

子どもの居場所 ～安全と笑顔を守るために～

2023 年 4 月にこども家庭庁が発足、同年 12 月には「こどもの居場所づくりに関する指針」が決定されました。その理念の一文には、私たちの想いが集約されていると感じます。

現在、官民ともに緊湊一番、子どもの居場所づくりに取り組んでいます。私たちのような医療機関や関連機関につながった子どもは、居場所へと導かれることが増えてきています。しかし、居場所がないことに気づかれていない子ども、SOS を出せない子ども、出しても見逃されている子どもが多くいるのが現状です。つながっているのは、困難を抱える子どもたちの氷山の一角に過ぎません。居場所へ導けたとしても、その子にとっての真の居場所となり得ていないことも残念ながら経験しています。

そのため、子どもが安心して過ごせる居場所のさらなる拡充と多様なニーズに対応できる居場所づくり、そして連携・協力し、手を携えて子どもの居場所を創り出すことが、私たち子どもを守る役割を担う者として重要だと考えています。

今回は民間団体、企業、そして医療機関の各視点から居場所についてご執筆をお願いしました。ご協力いただきました先生方に深く感謝するとともに、企画という貴重な機会を賜りました出版社の方々に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

さあ、みなさん一緒に、子どもの安全・安心な居場所づくりに取り組んでいきましょう！

(西真岡こどもクリニック／仲島大輔)

